



環境放射能除染学会 第12回講演会

主 旨：

福島におけるオフサイトでの環境回復に向けた取組も、除染、仮置き、輸送から除去土壌・汚染廃棄物等の処理、中間貯蔵における減容化・再生利用、将来的には濃縮物の県外最終処分などのフェーズに移行していくことになる。一方、廃炉に向けては、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）の戦略プランに基づいて、各機関が基礎的な研究開発から様々な取り組みを開始しているところである。本講演会では、オフサイトでの環境回復に向けた国の取組や技術展開の動向を再確認して、一方で廃炉に向けたオンサイトにおける今後の技術戦略および研究開発課題など理解することによって、両者の間の技術的な連携可能性などについて考えてみたい。

- 主 催：一般社団法人環境放射能除染学会
- 日 時：2017年1月27日（金）10時00分～16時30分
- 場 所：東京国際フォーラム ガラス棟6階 会議室 G610（有楽町駅徒歩1分）
- 定 員：100名（会員および先着申込優先）
- 参 加 費：会員5,000円 非会員15,000円
- お 申 込：学会ホームページよりお申込ください。
(<http://khjosen.org/event/seminar/12th/kouenkai12.html>)
- 問 合 せ 先：一般社団法人環境放射能除染学会 東京事務所までメールにてお問い合わせ下さい。
お問い合わせアドレス：info@khjosen.org

福島の環境回復と廃炉に向けた技術展開		—福島オフサイトにおける環境回復に向けた技術展開とオンサイト技術との連携可能性—
講演1. 10:00～10:40 福島の環境回復に向けた環境省の取組と今後の課題	環境省 水・大気環境局 中間貯蔵施設担当参事官室補佐	山田 浩司
講演2. 10:40～11:20 廃炉に向けた技術展開と今後の課題	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 執行役員	植田 拓郎
休憩 11:20～11:40		
環境放射能除染学会総会 11:40～12:20		
ランチタイム 12:20～13:10		
講演3. 13:10～13:50 JAEAにおける福島の環境回復に向けた研究開発 —オンサイトへの応用展開も含めて—	日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター センター長	宮原 要
講演4. 13:50～14:30 減容化・再生利用技術に関する研究開発状況と今後の課題	国立環境研究所福島支部 主任研究員	山田 一夫
休憩 14:30～14:50		
講演5. 14:50～15:30 再生利用からみたオフサイトとオンサイトの問題	北海道大学大学院工学研究院 環境地質学研究室 教授	佐藤 努
パネル総合討論 15:30～16:30 講演1～5の論点整理を含めて	司会：国立環境研究所	大迫 政浩

講演会終了後、意見交換会（参加費3,500円）を予定しております。